

SSH 通信では、SSH に関する情報を随時お知らせします。

JSSF(Japan Super Science Fair)

SSH 校である立命館高校が主催する国際高校生科学シンポジウムです。今年は 11 月 2 日～7 日の日程で開催されました。基調講演、研究発表、グループワーク、科学講座、校外研修等があり、本校からは大山峻君、渡邊悠希君が参加し、海外の生徒も含め多くの高校生と交流できました。英語での研究発表も大変評価していただきました。



科学の甲子園

11 月 12 日(日)に、「科学の甲子園」福島県大会が、県教育センターで実施されました。高校生が科学技術、理科、数学などの知識、技能を競う大会で、福島高校からは、1 年生、2 年生の 2 チームが参加しました。惜しくも優勝は逃しましたが、2 年生チーム「福島 A」が 2 位になりました。



生徒理科研究発表会県大会

11 月 18 日(土)、19 日(日)の 2 日間にわたって、福島県高校総合文化祭自然科学部門の生徒理科研究発表会が、日大東北高校を会場に開催されました。福島高校からは、口頭発表部門に 9 つ、ポスター部門に 8 つの研究班が参加しました。

◇口頭発表

優秀賞「マグネシウムとヨウ素を用いた二次電池の開発」

優良賞「バクテリアセルロースを用いたストローの開発と評価」

◇ポスター発表

優秀賞「色素増感太陽電池の高性能化

～酸化チタン膜の最適条件の研究～」

「除去土壌の減容化のためのポルサイト合成の研究と自作リークテスト器による安全性の検証」



高大連携講座

本校では2年次に全生徒が課題研究に取り組みます。次年度の研究に向けて、福島大学の先生方から課題発見の手法や研究内容について学ぶ講座です。11月22日に文系11講座、29日に理系9講座が開講され、各2講座ずつ受講しました。大学での研究内容や方向性を知る上でも重要な機会となりました。



メタン菌班・放射線班受賞

第67回日本学生科学賞福島県審査委員会
読売新聞福島支局長賞を受賞しました。
発表名「メタン発酵の効率化に関する研究—発酵環境の最適化を探索する」



第12回環境放射能除染研究発表会
優秀ポスター発表賞を受賞しました。
発表名「廃液の再利用によるポルサイト合成の評」
価と自作リークテスト器を用いた流水実験



▶今後の主なSSH行事予定

ふくしまサイエンスフェスティバル
日 時：12月9日（土）11:00～15:30
ところ：子どもの夢を育む施設こむこむ館
本校SS部から6班、書道部、管弦楽部、
美術部が実験屋台を出します。ぜひ来てください

今年も素敵なポスターができあがりました↓

